

中国侵略戦争のための軍事演習やめろ！



昨年11月、首都中枢で岸田打倒の大反戦デモ！

日米実動演習「キーン・ソード25」粉砕！

総選挙をぶっ飛ばし石破を打倒しよう！

11・3大反戦デモこそが我々の選択肢だ！

大軍事演習と対決する行動に集まろう！

- 10月21日（月） 「国際反戦デー」スタンディング
18:00 本通り青山前集合
- 10月22日（火） 呉海上自衛隊申し入れ
13:30 ゆめタウン呉集合 14:00 申し入れ
- 10月26日（土） 岩国基地抗議行動
15:00 岩国駅前アピール 16:00 岩国基地へ申し入れ
- 10月27日（日） 反戦女性集会
14:00 広島平和資料館 会議室2 ※集会後デモ行進
- 11月3日（日） 全国労働者総決起集会

**戦争訓練
粉砕！**

総選挙で戦争翼賛国家への転換ねらう石破政権

今夏8・6ヒロシマの闘いは、汚職・腐敗と戦争への怒りと結びつき、岸田政権を打倒するものとなった。岸田に代わり新しく登場した石破政権は、9条改憲と「核共有」＝核武装、「アジア版NATO」の創設を公言する戦争突撃内閣だ。核戦争に突き進む日本帝国主義・石破政権を倒し、中国への侵略戦争をとめる、巨大な反戦闘争を巻き起こそう！

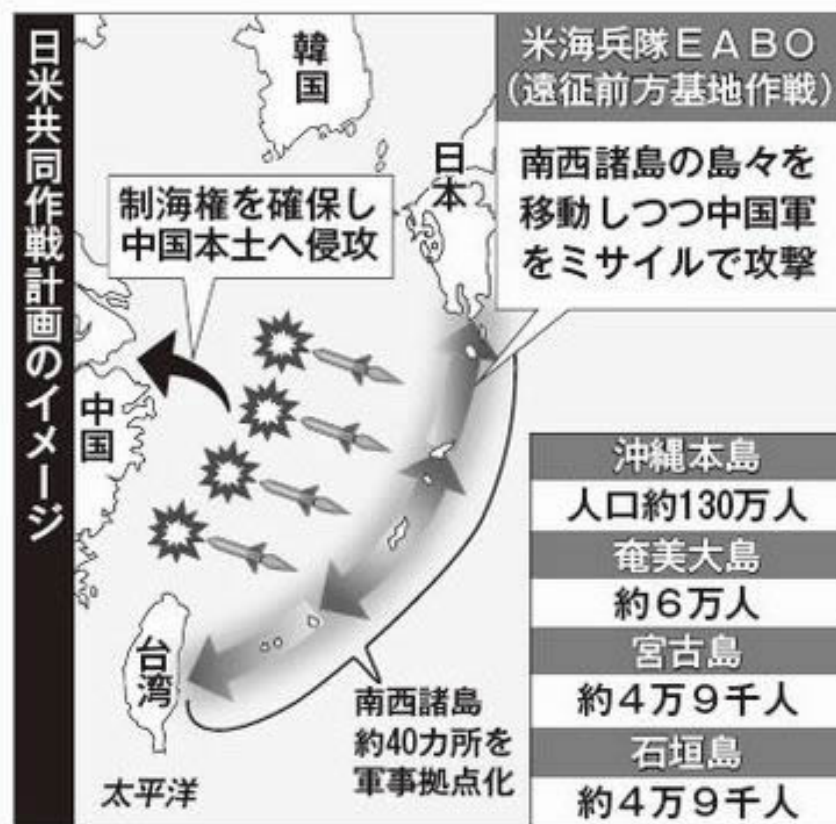
労働者・学生の戦争と生活破壊への怒りに追い詰められた自民党と石破政権は、就任後史上最速となる解散・総選挙に踏み切った。この総選挙は自民・石破と、「日米安保基軸」で一致する立憲民主、維新、国民で中国侵略戦争へ突入するための挙国一致体制をつくるものだ。この総選挙にわたしたち労働者階級の選択肢はない。立民や共産をふくむ全勢力が、石破政権の戦争突進に沈黙を貫くことで戦争内閣を補完するものになっている。わたしたちの未来は「よりまし」な選択肢の先にはない。戦争政府と総翼賛議会をまるごと吹き飛ばす反戦闘争＝11・3労働者総決起集会こそがわれわれの選択肢だ！

中国侵略戦争のための巨大軍事演習

なによりこの総選挙期間中10月23日からはじまる日米の共同統合演習「キーン・ソード25」は、初めて中国を「敵国」として名指した「キーン・エッジ24」を引き継ぎ、自衛隊約3万3千人、米軍約1万2千人が参加する実動演習＝大軍事演習だ。オーストラリア軍やカナダ軍をはじめ、世界中の「同盟国」が参加し、NATO（北大西洋条約機構＝東欧を爆撃し蹂躪してきた戦争機関）がオブザーバーとして参加する。帝国主義そろいぶみで「中国を打ち負かす」（米国家安全保障戦略）ための戦争訓練であり、これ自体が中国侵略戦争の火蓋を落とすものになりかねない重大な戦争挑発だ。

世界戦争・核戦争の主戦場として、九州から沖縄・琉球弧にかけて軍事要塞化・ミサイル基地化が急ピッチですすめられてきた。沖縄・勝連分屯地の地対艦ミサイル連隊を先頭に、宮古、石垣、与那国、奄美に陸上自衛隊のミサイル部隊・計2600人の配備が進められている。

「キーン・ソード25」は自衛隊や米軍の基地にとどまらず、沖縄・九州を中心に全国の民間施設が使われる。不発弾の爆発事故が起きた宮崎空港をふくむ12空港、20港湾がその対象とされ、日本全土が演習の舞台にされる。呉の海上自衛隊や米軍岩国



基地はもちろん、東広島市内の河川にPFAS（有機フッ素化合物）を垂れ流してきた弾薬庫もすべて使っておこなわれる大軍事演習を許すことはできない！

また、石垣島にはウクライナでも使われている高機動ロケット砲システム「ハイマース」も持ち込まれ、EABO（遠征前進基地作戦）を想定した訓練が予定されている。EABOとは、中国軍の防衛ラインを突破するための作戦だ。日米政府が言うような「中国の脅威」からの防衛でもなければ「自衛戦争」でも何でもないことは、火を見るよりも明らかだ！

首都直下の反戦デモで戦争政府を打倒しよう！

9月25日には海上自衛隊の護衛艦「さざなみ」が初めて台湾海峡を通過した。戦争勃発にもなりかねない画歴史的な戦争挑発を、日本帝国主義が決断しているのだ。それは日本を最前線基地にして中国と核ミサイルを撃ち合う戦争＝中国侵略戦争への「決断」にほかならない。

今こそ戦争の元凶である日米の帝国主義政府を倒す反戦闘争が必要だ。10月21日「国際反戦デー（1966年ベトナム反戦ストライキがおこなわれた日）」のスタンディングを皮切りに、「キーン・ソード25」と対決する諸行動（オモテ面）に集まろう！

11月3日東京・日比谷野外音楽堂でおこなわれる11・3全国労働者総決起集会&改憲・戦争阻止1万人大行進は、戦争絶対反対を貫き闘ってきた労働組合が呼びかける、戦争政府打倒の大反戦集会&デモだ。8・6ヒロシマで岸田政権を倒した力を東ね、さらに大きくし、東京のど真ん中に帝国主義打倒の隊列を登場させよう！